



UMISACHI通信

産み・生み・熟み・績み



第15号

発行 研究推進委員会

2011/1/19

新聞記事を使った仮想授業例

【質問1】 右の新聞記事のタイトルから「わかったこと」「考えたこと」「はてな」を書きましょう。

- ・大雪が降った。
- ・トヨタ、スズキの工場だから自動車工場のことではないか。
- ・冬のことだろう。
- ・大雪とはどれくらい積もったのだろう？
- ・大雪でなぜ止まったのか？

【説明】 これは『北國新聞・2011年1月18日』の記事です。冬、愛知県に大雪（積雪 10 cm）が降ったために「プリウス」などを精算している自動車工場などが止まったのです。



【質問2】 なぜ、大雪で工場が止まったのでしょうか？

- ・従業員が会社に来れない。
- ・道路に雪があって車が走れない。
- ・電車が動かない。

【指示】 この新聞では、工場が停止した理由について『「〇〇〇持たず」が裏目』と出ています。「裏目」というのはどんなことですか？ 辞書で調べなさい。

うら-め【裏目】①采(さい)の表面に出た目に対し、その反対側の目。

うらめにでる【裏目に出る】(よかれと思って)やったことの結果が予想と逆になる。

広辞苑 第五版 (C)1998, 2004 株式会社岩波書店

【説明】 この中には「部品在庫」と入ります。これらの自動車工場は「部品の在庫」がなく、それらの部品が「雪の影響で組立工場に届かないだろう」と予想されたため停止されたのです。

【質問3】 では、なぜ「部品の在庫」がなかったのでしょうか。実は、組立工場には、部品の在庫はいつもほとんどないのです。

もし、あなたが工場の責任者なら…そのことをどう考えますか。「部品の在庫を持っていないこと」には、どんな「よかれ」があるのでしょうか。

- ・たぶんこれは難しいだろう。意見が出てこないかも知れない。
- ・でも、ばかなことを考えるヤツがいるかもしれない。
- ・会社の社長になって考えてみるのも楽しいものだ。
- ・「うちの会社では、余計な部品はおいて置かない。それは〇〇だからだ」と説明させてもおもしろいかも知れない。

【指示】 教科書や資料集で「部品を作っている工場と組み立て工場との関係」について調べなさい。
「自動車の部品」についてわかったことを箇条書きにしましょう。

<教科書 70p ~ 71p >

- ・自動車は 3 万個あまりの部品でできている。
- ・部品は関連工場とよばれている工場で作られている。
- ・自動車の組み立て工場から部品の工場に注文が来る。
- ・関連工場は、部品を注文どおりに出荷しなければならない。
- ・部品を注文通りに出荷できないと、自動車組み立て工場も止まってしまう。

教科書ではこの程度しかわかりません。これでは新聞記事を理解することは難しいです。そこで『社会科資料集』(青葉出版)を見てみます。

<資料集 61p >

- ・必要な部品を、必要なとき、必要な数だけおとどけします！

自動車工場では、必要な部品を注文し、指定した時間に関連工場から納品してもらうようにしています。関連工場ではすぐに部品を出荷できるように準備をしています。このやり方は、つくりすぎのむだ、場所のむだをなくす効果があるので、今では世界各地の工場に取り入れられています。

【説明】 組み立て工場がなるべく在庫を持たない方式を「ジャスト・イン・タイム」とよびます。「欲しい時間に部品を入れる」というような意味です。こうすることで組み立て工場ではコスト(出費)をおさえることができます。

【指示】 自動車とつながりのある工場について「教科書 70p」を見てまとめましょう。

日本で、(自動車工業)がさかんになったのは(組み立て工場)をささえている(工業の発展)があったからです。



右の記事は同日の『北陸中日新聞』の記事です。
これじゃ授業に使えないですね。



今回は、5年生社会科で新しく「関連工場」を学習するときを想定してみました。
3学期にやるのなら、別の取り上げ方もできると思います。朝の会でさっと取り上げるのもいいでしょう。復習になります。

授業化するなら、たとえば、「大雪ってどれくらいか。その定義は」「なんで 10 cmほどで大騒ぎするのか」「なぜ太平洋側ではあまり雪が降らないのか」など…